



さちが丘小学校 学校だより

若竹

9月号

令和4年8月29日
横浜市立さちが丘小学校
校長 高浜 正太郎
TEL.361-0777 FAX.361-0787

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

この夏を振り返り

校長 高浜 正太郎

3年ぶりに行動制限のない夏休みを過ごすことができました。39日間という長い休みを終えて、学校には元気な子どもたちの姿が戻ってまいりました。

新型コロナウイルス変異株による第7波の到来により、医療がひっ迫している都道府県もあり、県内では感染者数は減少しているものの、依然として高止まり傾向にあります。さらに、真夏日や猛暑日が連日続き、熱中症による救急搬送も例年よりも多いと報道されていました。

そのような夏休みの中、各地では夏祭りや花火大会、高校野球など、夏の風物詩が再開されたことは、心休まるひと時を与えてくれたことと思います。

さて、夏休みといえば、アウトドアや海水浴、川遊びなどが楽しめるシーズンではありますが、子どもたちが海や河川にて水難事故に遭うという報道を多く目にしました。子どもが溺れ、助けに水中に飛び込んだ保護者や大人、年上の人が犠牲になる「二次被害」のケースも後を絶ちませんでした。

川や湖等での水難事故の調査分析や啓発活動等を行う「公益財団法人 河川財団」によると、救助法について危険度を6つのレベルに分類し、危険度が低い順に

- (1)「声をかける」
- (2)「浮くものを投げる」
- (3)「スローロープや長いものを使う」
- (4)「浅瀬をチームで渡る（膝下以下の水位）」
- (5)「ボートを使う」
- (6)「泳いでいく」



として紹介されていました。突然、そのようなことが起きたときに行動に移せるように、日頃より心がけておかなければならないことだと感じました。

夏休み前の朝会の際に、子どもたちには3つの安全（交通安全、生活安全、防災安全）に留意して夏休みを過ごすように話しました。本日の朝会でもその振り返りをするので、これからも安全な生活を心がけるように話したところです。

また、昨年度より6年生のみ再開した水泳学習でしたが、本年度は2・4・6年生と個別支援級にて水泳学習を行い、9月まで学習いたします。水泳学習では、潜ったり浮いたりする楽しさや泳ぐ楽しさを味わうとともに、その動きや技能を身に付けることを目標として学習しています。「〇メートル泳げるようになった」「クロールのタイムが縮まって、速く泳げるようになった」という声が再びプールサイドで聞かれるようになったことは、喜ばしいことだと思います。コロナ禍ではあるものの、少しずつ運動に親しむ時間が戻っていることを実感します。

まだまだ残暑の厳しい日が続くと思われませんが、熱中症対策と感染症対策を心がけながら、前期の学習や生活のまとめを進めてまいります。ご家庭におかれましても、毎朝の検温や健康観察を引き続きよろしく願いいたします。また、発熱や風邪の症状等、少しでも体調不良を感じている場合は、無理をせずに欠席させ、経過観察していただくよう重ねてお願いいたします。